

新しいキャンパスライフをはじめよう！

～新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル(第4版)～

2020年6月15日(第1版)

2020年9月16日(第2版)

2022年4月13日(第3版)

2022年6月1日(第4版)

2022年7月26日一部修正

立命館大学

目次

はじめに

1. 基本事項

- 1) 飛沫感染を防ごう！～マスク着用はとても大切です～
- 2) 接触感染を防ごう！～手洗いのすすめ～
- 3) 自分の体温を測ろう！～登校前の検温を～
- 4) いつ・どこで・何をしたか・誰と会ったか？を記録しよう～行動記録表を使おう～
- 5) 感染の可能性をいち早く知るには？～接触確認アプリ(COCOA)等を利用しよう～
- 6) 自らが感染した、または感染の疑いがあると言われたら…！
- 7) こんなときは？～医療の相談～

2. キャンパスライフを楽しむために～みんなで取り組もう！新スタイル～

- 1) 大学として実施する感染防止対策
- 2) みんなで取り組もう！～安心安全のキャンパスライフをめざして～
- 3) 一緒に考えよう！～とくに学生のみなさんに考えてほしいこと～

<参考資料>

【参考資料1】健康観察用紙

【参考資料2】行動記録表

【参考資料3】「新しいキャンパスライフをはじめよう」(啓発ポスター)

【参考資料4】「新しいキャンパスライフをはじめようー実践例ー」(啓発チラシ)

はじめに

本学では、感染防止対策への徹底した取り組みを進めながら、ウィズコロナ時代に対応した教育・研究・学生諸活動を展開し、学生のみなさんが充実したキャンパスライフを送ることができるよう努めていくこととしています。

「新しいキャンパスライフをはじめよう！」と題した「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル（第4版）」は、学生（学部生、大学院生）のみなさんに、安心安全かつ充実したキャンパスライフを送っていただくために、みなさんにご留意いただきたい感染予防対策等について周知・啓発をはかることを目的に作成したものです。このたび、政府の新たなレベル分類にもとづく基本的対処方針の変更や立命館大学の行動指針（BCP）の改訂（2021年12月15日改訂）加えて、行政が感染リスクの高い同一世帯内や重症化リスクの高い入院患者および入所者の濃厚接触者判定に集中するために、その他の濃厚接触者の認定ができなくなり、大学の判断で濃厚接触者判定をすることが必要になりました（「オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について」2022年3月16日厚労省事務連絡）。そのために、本学での準濃厚接触者抽出を速やかにかつ円滑に行うために保健センターが中心となって感染報告集約を実施し、感染拡大防止に努めていくこととなりました（「オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施に関する立命館大学の対応について」2022年4月13日常任理事会）などを踏まえて、本マニュアルについて改訂を行いました。ぜひ、このマニュアルをよく読んで、一人ひとりができることに取り組んでいただくよう、ご理解、ご協力をお願いします。感染防止対策を取りながら、充実した学生生活を楽しむために、みんなで新しいキャンパスライフをはじめましょう。

1. 基本事項

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、“新しいキャンパスライフ・スタイル”として、一人ひとりが、基本ルール（マスクの正しい着用、ゼロ密、フィジカルディスタンス、手洗い・手指消毒、うがい）を徹底することが重要です。基本的な感染防止対策を取り入れたキャンパスライフを実践することが求められています。

自分のため、みんなのため、そして大切な人のために、「自らが感染しない」「人に感染させない」ための行動に、一人ひとりが取り組んでいくことが大切です。

1) 飛沫感染を防ごう！～マスク着用はとても大切です。～

キャンパスに入構する方に対しては、通学時およびキャンパス滞在時にはマスク着用を義務付けています（飲食時や運動時などは除きます）。

※マスクは各自で用意することが基本ですが、キャンパス入構後にマスクの破損や汚損、紛失等があった場合には、各学部事務室・学びステーション等において配布しています。

【マスク着用に関する留意事項】

・マスクは正しく着用してください。不織布マスクは飛沫の拡散や吸引を防御する上で優れていることから、不織布マスクの着用を推奨します。また「鼻出しマスク」は鼻からの飛沫吸引につながります。マスクは鼻・口を隙間なく覆う、正しい装着をお願いします。

・感覚過敏などでマスク着用が困難な方については、学生オフィスにご相談ください。状況に応じて、マスク着用が困難であることを示す意思表示カードの携行やフェイスシールドまたは「せんす型マスク」の使用などをお願いする場合があります。なお、学生のみなさんは、マスク着用が困難な場合があることについて、ご理解いただくようお願いします。

・立命館大学では、「マスク着用に関する申し合わせ」を定め、学生、教職員、来校者のみなさまには、キャンパス滞在時のマスク着用を義務付けることとしています。これにもとづき、キャンパス内において、マスクを着用せずに会話・談笑している場面を見かけた場合は、必要に応じて教職員やキャンパススタッフが声をかけさせてもらうことがあるものとしています。

2) 接触感染を防ごう！～手洗いのすすめ～

建物の入口や人が集まる場所などにアルコール消毒液を配置しています。こまめに正しい手洗いや手指消毒をするよう心がけてください。

※各自で清潔なタオルまたはハンカチを持参するようにしてください。

接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

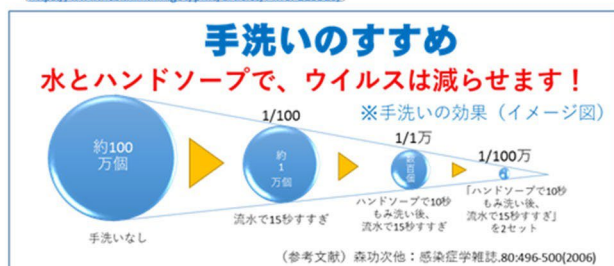
人は、“無意識に”顔を触っています！



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約**44パーセント**を占めています！

(参考文献)

Yen Lee Angela Kwok, Jan Gralton, Mary-Louise McLaws. Face touching: A frequent habit that has implications for hand hygiene. Am J Infect Control. 2015 Feb 1; 43(2):112-114
(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7115329/>)



手洗いの、5つのタイミング



(出典) 厚生労働省 HP より。

3) 自分の体温を測ろう！～登校前の検温を！～

登校前には必ず検温し、発熱(※)や息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、頭痛、咽頭痛、鼻汁(鼻みず)・鼻閉、嗅覚・味覚異常の症状等がないか確認してください。

上記の症状がある場合は、大学を休み外出を控えるようにしてください。

※発熱は、37.5度以上または平熱より1度以上高い場合を目安としてください。

文末に掲載している「健康観察用紙」(立命館保健センター)をご活用ください。

■健康観察用紙 下記からもダウンロードできます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/hoken/doc/selfhealthchecksheet.pdf>

※パソコンをご利用の場合、Ctrl キーを押しながらかlickするとファイルを開くことができます(以下、同じ)。

・キャンパス内で実施される対面授業等を欠席する場合には、担当教員または各学部事務室・学びステーションに連絡してください。また、課外活動を欠席する場合は、クラブ関係者に連絡してください。

・検温を忘れた場合は、食堂や学びステーションなどに検温器を設置していますので、セルフチェックにご活用ください。


- ・大学に来られた後に検温器を使用して、37.5度以上の発熱等の症状がわかった場合は、
- ①速やかに帰宅して、症状が良くなるまで自宅で静養してください。体温の記録も行ってください。
 - ②新型コロナ感染症以外の病気が心配な方や、診察や投薬を希望される方は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関、または立命館保健センターにまず電話でご相談ください。詳しくは、本マニュアルの「1. 7) こんなときは?～医療の相談～」を参照してください。

R 
体温を測定しています

新型コロナウイルス感染防止対策のため、赤外線サーモグラフィー測定にご協力ください。

測定結果が37.5℃以上と表示された場合、以下をご確認ください。

1. 速やかに帰宅して、症状が良くなるまで自宅で静養して下さい。体温の記録も行って下さい。
2. **新型コロナ感染症以外の病気が心配な方や、診察や投薬を希望される方は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関、または立命館保健センターにまず電話で相談してください。**
※相談する医療機関によっては、「帰国者・接触者相談センター」や、相談体制を整備している地域の保健会等にて相談ください。

①BKC近隣医療機関  <small>病院名・電話・診療時間 を一覧にしています。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/hoken/bv/bkccentru.pdf</small>	②立命館保健センター (BKC) <small>電話番号: 077-561-2635 窓口時間: 平日9:00~17:00</small>
---	---

3. 次の症状がある場合は、「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談してください。
帰国者・接触者相談センター 滋賀県相談窓口: 077-528-3621 ※24時間受付

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※高齢者や高齢者、基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患(慢性気管支炎・肺気腫)など)がある方や治療を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方)
- 味覚異常や嗅覚異常がある場合
- 発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合には、すぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

(検温器の近くにはこのような掲示を出しています。上記はBKCの事例)

4) いつ・どこで・何をしたか・誰と会ったか?を記録しよう～行動記録表を使おう!～

・自らが感染した場合や濃厚接触者になった場合、身近な人が感染した場合など、いつ・どこで・何をしたか、誰と会ったかなど、行動履歴を詳しく記録しておくことが大切となります。文末に掲載している「行動記録表」を活用して、行動履歴を記録するようにしてください。

い。

・本記録表はセルフチェック用であり、提出を求めることはありませんので、できるだけ詳しく記述するようにしてください。なお、ご自身が感染したり、濃厚接触者となった場合には、保健所や大学よりヒアリングさせていただく場合がありますので、本記録表をご活用ください。

■行動記録表

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=469813&if=.xlsx>

5) 感染の可能性をいち早く知るには？～接触確認アプリ(COCOA)等を利用しよう！～

感染の可能性をいち早く知るために、厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」を必ずインストールして利用するようにしてください。

(1) 本アプリは、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合、通知を受けることができ、感染の可能性をいち早く知ることができます。個人が特定される情報や、陽性者と接触者（接触の可能性がある通知を受けた者）との関係についての情報は一切記録されず、プライバシーは十分に保護されています。

(2) 新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来等の連絡先が表示され、検診の受診などが案内されます。

(3) この通知を受けた場合は、キャンパスへの登校は控えて、案内に従って、検診の受診などの対応をとってください。

(4) これによって、ご自身が陽性者と認定された場合は、「1. 6) 自らが感染した、または感染の疑いがあると言われたら…！」にしたがって大学に報告するようお願いいたします。

■【接触確認アプリ(COCOA)について】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

* App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>



App Store

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>



■各自治体が実施するコロナ追跡システムなどのアプリの活用について推奨します。

【滋賀県】LINE 公式アカウント「滋賀県－新型コロナ対策パーソナルサポート」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/310749.html>

【京都府】京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こことろ」

<https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/coronakinkyurenaku.html>



【大阪府】大阪コロナ追跡システム

http://www.pref.osaka.lg.jp/smart_somu/osaka_covid19/index.html

6) 自らが感染した、または感染の疑いがあると言われたら…！

医療機関で新型コロナウイルスに感染していると言われた場合、または同居(親族・知人等)が感染し、医療機関や保健所から待機を指示された場合は、すみやかに報告をお願いします。

報告方法

■立命館保健センター

<http://www.ritsumei.ac.jp/health/>

トップページ 目的から探す

■新型コロナウイルス感染症と診断された方、濃厚接触者の方へ

http://www.ritsumei.ac.jp/health/coronavirus_infection/

(1) マイクロソフト Forms で感染または濃厚接触の報告を入力してください。

入力いただく際は、以下の事項について報告できるようご準備ください。

新型コロナウイルス感染症と診断された方

- ①氏名、所属学部・研究科、学生証番号、生年月日
- ②課外活動への参加
- ③検査方法、発症日(いつから症状があったか)、症状
*無症状の場合は検査日
- ④発症日前後の行動歴
- ⑤発症日(無症状の場合は検査日)の2日前から最後に登校した日までの接触者
- ⑥新型コロナワクチン接種歴
- ⑦連絡先、電話番号
- ⑧下宿生で食糧支援を希望する場合は必要事項

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になった方

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 氏名、所属学部・研究科、学生証番号、生年月日 ② 陽性者との接触状況等の行動歴、濃厚接触者との連絡があった日、最終接触日 ③ 陽性者との関係 ④ あなたの現在の体調 ⑤ 連絡先、電話番号 ⑥ 下宿生で食糧支援を希望する場合は必要事項 |
|---|

※入力された情報で大学が確認したい事項がある場合は、立命館保健センターから電話で連絡をします（平日のみ）。

・課外自主活動団体に所属の方は、ご本人もしくは団体の代表・主務等から学生オフィス（体育会に所属の方はスポーツ強化センター）にもFormsで報告した内容を担当者に速やかにお知らせください。国際寮に居住している方は国際教育センターにもFormsで報告した内容を担当者に速やかにお知らせください。

(2) 授業配慮が必要な場合

■学びの支援サイトから申請を行ってください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/pathways-future/course/absence.html/>

→「新型コロナウイルスに関わる配慮について」をご確認ください。

ご自身が新型コロナウイルスに感染した、あるいは濃厚接触者に認定された場合は、所定の期間、出席停止となります。出席停止は「公欠」とは異なりますが、学校保健安全法第19条に基づき、大学として出席停止（※2）とするものです。

ア)感染者の出席停止の目安

有症状の場合：発症日を0として、その後10日間 かつ症状消失から72時間

無症状の場合：検査日を0として、その後7日間

イ)濃厚接触者（※1）の出席停止の目安

濃厚接触者に認定された場合、PCR検査等の結果、仮に陰性であった場合でも感染者と最後に濃厚接触をした日を0日として翌日から5日間の出席停止（自宅待機、健康観察）が求められることとなります。

※1 保健所が濃厚接触者と認定しない場合、下記のケースは保健センターが「準濃厚接触者」を判定します。

- a) 学生寮、合宿所等にて団体生活を行う学生が感染した場合
- b) 課外活動（大学が公認する団体）に参加する者が感染した場合
- c) マスク着用なしで飲食・会話・長時間の活動を、陽性者の学生を含む複数名で行った場合

d) 陽性者の学生との交際や宿泊を共にするなど、同一世帯内での接触と同等の濃厚接触があった場合

準濃厚接触者の判定は、報告を受けた保健センターが行います。保健センターから準濃厚接触者に出席停止措置（※2）を連絡します。連絡を受けた学生は、濃厚接触者となった場合に準じ報告をしてください。

※2 待機中に発症した場合は、速やかに医療機関での診療・検査を受けてください。

<大学の構成員(学生、教職員)が感染した場合の公表について>

大学の構成員（学生、教職員）が新型コロナウイルスに感染したことが判明した場合、感染拡大防止の観点から、個人情報保護に配慮して、ご本人の同意を得たうえで、最小限の事実を公表しています。

※新型コロナウイルスへの感染の可能性は誰にでも、どこにでもあります。感染した人に責任はありません。感染者への誹謗中傷は許されないことです。感染した学生・ご家族等の人権尊重・個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

■立命館大学では、「新型コロナウイルス感染者への差別に反対する声明」（2020年9月1日 学校法人立命館総長・立命館大学学長 仲谷善雄）を发出しています。

<http://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=1835>

7)こんなときは？～医療の相談～

■健康観察用紙等を利用して体温測定や症状の有無の観察を行いましょう。

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/hoken/doc/selfhealthchecksheet.pdf>

- ・発熱、咳、倦怠感、咽頭痛、頭痛等の体調不良がある場合は無理をしないで休みましょう。
- ・少しでも風邪症状がある時は、新型コロナウイルス感染症の診療を行っている診療・検査医療機関に連絡相談の上、検査を受けるようにして下さい。

■3府県（京都・滋賀・大阪）の診療・検査医療機関の情報

京都 https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/shinryo_kensa.html

滋賀 <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/iryo/314835.html>

大阪 <https://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/sinryokensa.html>

・立命館保健センターでも電話で相談を受け付けています（平日9時30分～17時）。

保健センター（衣笠）	075-465-8231
保健センター（BKC）	077-561-2635
保健センター（OIC）	072-665-2110

※診察時間・窓口時間については、下記でご確認ください。

■立命館保健センターホームページ

<https://secure.ritsumei.ac.jp/health/>

2. キャンパスライフを楽しむために～みんなで取り組もう！新スタイル～

1) 大学として実施する感染防止対策

(1) 新型コロナウイルス感染症に対する立命館大学の行動指針(BCP)

立命館大学では、「新型コロナウイルス感染症に対する立命館大学の行動指針(BCP)」を定め、キャンパス所在地における感染拡大状況や政府・自治体などによる大学等への休業要請などの有無にもとづき、授業や研究活動、課外自主活動等における活動レベル(レベル0～レベル5の5段階)を設定しています。このレベルによっては、授業がメディアを利用した授業メインになったり、課外自主活動などが制限される場合がありますが、感染拡大予防のために実施していますので、ご理解、ご協力をお願いします。

■「新型コロナウイルス感染拡大に対する立命館大学の行動指針(BCP)」(2021.12.15 改訂)

<http://www.ritsumeai.ac.jp//file.jsp?id=459352&if=.pdf>

(2) 感染防止対策の基本

「新しい生活様式」にもとづき厚生労働省が推奨する基本的な感染防止策(①身体的距離の確保、②マスク着用、③手洗い)とともに、「ゼロ密」(密閉・密集・密接のうち一つの密でも避けること)を基本に、学生のみなさんや教職員が安心・安全に授業や学生生活を送ることができるよう、大学としてできる限りの対策をとることとしています。

【学生、教職員、来校者のみなさまにお願いしていること】

- －「自らが感染しない」「人に感染させない」ための行動の徹底
- －「マスク着用」の徹底
- －正しい手洗い・手指消毒の徹底(アルコール消毒液は人が集まる箇所に設置)
- －登校前の検温、体調不良時は外出しないことの徹底
- －人が多く集まる食堂や学生窓口などには、サーマルカメラ体温測定器を設置



(サーマルカメラ体温測定器による検温)

(3) 対面授業(教室)での感染防止対策

- ・ 教員はマスクを着用（必要に応じてマウスシールドやフェイスシールドを着用）
- ・ 授業内容によっては、学部生・大学院生のみなさんにもフェイスシールドの着用をお願いすることがあります。
- ・ 教室内では可能な限り身体的距離を取って着席
- ・ 全教室（教卓）に透明の遮蔽版を設置（質疑応答時の飛沫防止対策、ソーシャルディスタンスの確保）
- ・ 共用部分（ドアノブ、手すり、スイッチなど）の定期消毒



（透明の飛沫防止パネルを全教室の教卓に設置）

(4) 換気対策

- ・ 厚生労働省が推奨する①機械換気、②窓の開放による自然換気（教室では 30 分に一回、数分間の窓開け）を実施します。
- ・ 教室内の換気のために、窓や出入り口を開放して授業を行うことがあります。窓の開閉については、学部生・大学院生のみなさんにもご協力をお願いします。また教室の構造によっては、サーキュレーターを使用することがあります。

(5) 食堂での対策

- ・ 食堂利用前には正しい手洗い・手指消毒の徹底をはかるよう啓発します。
- ・ 利用前に体温チェックを！（入口にサーマルカメラ体温測定器を設置します。）
- ・ すべての座席に飛沫防止パネルを設置し、安心して食事がとれるようにします。
- ・ 食堂スタッフは毎日体調チェックを行い、接客時はマスクを着用します。
- ・ 換気の強化、ソーシャルディスタンスの確保、感染防止のために給水機・給茶機等の共用備品の利用停止などの対策を実施します。
- ・ 1日2回、テーブル、椅子の消毒を実施します。
- ・ 混雑時には入場を制限させていただく場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。

感染拡大防止のためのルールと対策

みんなで防ぐ!
COVID-19

ルールを守ってご利用ください
 ご理解・ご協力をお願いいたします



① 体調不良時は
 利用しない



② ご来店時は
 マスク・消毒



③ 店内では
 間隔をあける



④ 支払いは
 電子マネー



食堂利用のルール

席取りしない 静かに食べる 食事後はすぐ出る



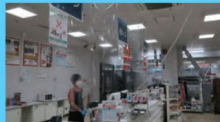
店舗の感染症対策



【店舗入口】消毒液



間隔を呼びかける誘導表示



【レジ・カウンター】シールド



【食堂座席】飛沫防止パネル



食堂の給茶機は利用停止中です
 ドリンクは各自ご利用ください

(食堂での感染防止対策)

(6) 課外自主活動での対策

・「新型コロナウイルス感染症に対する立命館大学の行動指針（BCP）」の「レベル2」においては、感染防止策の徹底ができると認められた団体に限り、関連団体等が定めるガイドライン等にもとづき、通常の課外活動・自主的諸活動を実施することができることとしています。また、対面による地域交流やイベント（試合を含む）・合宿等の活動については、限定的な活動再開が認められた団体のみを対象に、活動を認めています（事前申請による許可制）。

・新型コロナウイルス禍以前のような活動が出来ない状況において、学生のみなさんは不安や負担を感じる時期が続いていると思います。こうした状況を収束させるため、今一度、一人ひとりの自覚と責任ある行動について考え、実践してください。慎重な行動を心がけて感染拡大の防止に務め、クラスター（集団感染）を発生させないために「密閉」「密集」「密接」の3条件を徹底して回避しましょう。大学の学生部では、皆さんの活動環境が少しでも前進するよう一緒に取り組んでいきます。

<限定的な活動再開に向けて学生部が各団体と確認をする主な点>

- ① 部員の体調を一定期間（14 日間以上）継続的に把握、報告し、体調の悪化や不良がある部員を速やかに発見し活動に参加させない等の対処ができること
- ② 活動時だけでなく日常生活においても、参加する全員が、別途提示する定められた感染症対策（食事、外出、交遊の際など）を徹底できること
- ③ 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下で活動を再開することのリスクを理解し、他方で大学がそれを認めることの趣旨を理解できていること。人数・活動場所・時間・形態等を一定程度制限し、活動をすることの意味を説明できること
- ④（配置されている場合は）教職員の顧問・部長・副部長、指導者等との連携を十分にとることができ、かつ部内での指揮命令系統が明確であること（有事に活動を休止するなど、迅速に対応できる体制が整っていること）
- ⑤ 学外の施設を利用する必要がある場合は、その施設の利用方針も遵守すること
- ⑥ 上記事項を継続して実施できるよう、各団体の特性を踏まえた「感染対策」を作成し提出をすることを求めます。

2)みんなで取り組もう！～安心安全のキャンパスライフをめざして～

(1)通学のときは…

- ・できるだけ徒歩や自転車等を使って通学しよう。
- ・公共交通機関を利用する場合は、①必ずマスクを着用すること、②人との会話は控えること、③可能な限り混雑時間を避けること、などに注意しよう。

(2)キャンパスでは…

- ・必ずマスクを着用しよう。
大学では、キャンパス滞在時にはマスク着用を義務付けています。
マスクを着用せずに会話をしている場合など、教職員やキャンパススタッフが声をかけさせていただくことがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。
キャンパス入構後にマスクの汚損、破損や紛失があった場合は、学部事務室・学びステーション等で配布しています。
- ・こまめに、正しい手洗い、手指消毒をしよう。
- ・「ゼロ密」ひとつの密でも避けましょう。

(3)授業(対面授業)では…

- ・必ずマスクを着用しよう。
(フェイスシールド等の着用をお願いする場合があります)
- ・一定の間隔がとられた座席を使用しよう。
(着席場所について指示や指定の席があるときは、それに従ってください)
- ・教室の換気（窓開け、ドア開けなど）にご協力をお願いします。

(4) 食堂では…

- ・ 食堂利用前後に正しい手洗い、手指消毒をしよう。
入口には手指消毒用アルコールを設置します。
- ・ 利用前に自分の体温をチェックしよう。
食堂の入口にサーマルカメラ体温測定器を設置します。もしも発熱症状（37.5 度以上）がある場合は、掲示にしたがって、かかりつけ医や近隣の医療機関または保健センターにお電話にてご相談ください。
- ・ 利用者同士のソーシャルディスタンスを確保しよう。
- ・ 飲食時以外はマスクを着用しよう。
- ・ 食事が終わったら、すぐに退席しよう。
- ・ 食事中の会話は控えていただきますようお願いいたします。

(5) 諸施設の利用にあたっては…

- ・ 施設利用前後に正しい手洗い、手指消毒をしよう。
- ・ 利用時は必ずマスクを着用しよう。
- ・ 大声を出すことやマスクをはずしての会話は控えるようにしてください。

<トイレでは>

- ・ 使用後に必ず水とハンドソープを使って、正しい手洗いをしよう。
30 秒程度かけて洗うと効果的です。
- ・ 便座の蓋を閉じて、水を流そう。
洋式トイレの水を流す際、便座に蓋が設置されている場合は、飛沫防止のため、蓋を閉じた状態で水を流すようにしてください。
- ・ タオルまたはハンカチを持参しよう。

<宿泊施設(セミナーハウス)、合宿所、国際寮等では>

- ・ ソーシャルディスタンス確保、手洗い、「3密」の徹底回避に努めよう。
居住空間・生活空間を共用している場合は、特に感染リスクが高くなることから、ソーシャルディスタンスの確保、正しい手洗い・手指消毒、「3密」の徹底回避などにご留意ください。
- ・ 飲食を伴う交流は控えよう。
飲食を伴う交流・リクリエーションなどは感染リスクが高いといわれていますので、控えるようにしてください。
- ・ チェックイン時に検温をさせていただき、発熱等の症状がある場合は、ご利用をお断りさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いします。
- ・ ラウンジ・談話スペース・キッチン等の利用の可否や制限については、施設管理者の指示に従ってください。
- ・ 集団宿泊部屋は、宿泊人数の制限を行う場合があります。

<スポーツ施設、ジム(更衣室含む)、スタジオ、ホール等では>

- ・ 予め利用が許可された学生（団体）にのみ利用を認めますので、ご理解、ご協力をお願いします。
- ・ ソーシャルディスタンスに気を付けよう。
運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、周囲の人と距離を空けるようにしてください（目安は2 m四方）。
- ・ 利用者が多くならないように入場制限を設けます（特に更衣室・休憩スペース）。
- ・ 観客を入場させる場合には、観客同士が密な状態にならないよう、人と人の十分な間隔を確保してください。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合のマスクの着用等を周知してください。
- ・ 各種の競技を行う場合については、中央競技団体が定めるガイドラインを参考にして必要な取り組みを行ってください。
- ・ 自分専用の飲料ボトルを持参しよう。
冷水器を撤去し、代替としてウォータースタンドを設置しますので、自分専用のボトルなどを持参してご活用ください。飲み物を他の人と共用することは避けてください。
- ・ 使用するスポーツ器具等は限定的として、使用後は各自でアルコール消毒を行ってください。

(6) クラスタ（集団感染）を発生させないために～「ゼロ密」を目指そう～

- ・ 「3密」（密集、密接、密閉）の全てを避けるようにしましょう。
集団感染は、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」のいずれかまたは複数該当する場合があります。ひとつの密でも避けて「ゼロ密」を目指しましょう。
- ・ できるだけ、そのような場所に行くことを避けていただき、やむを得ない場合には、マスクをするとともに、換気をする、大声で話さない、相手と手が触れ合う距離での会話は避ける、といったことに心がけてください。
- ・ 家族以外との会食は、できるだけ控えるようにしよう。
キャンパス内・キャンパス外のいずれにおいても、友人などとの対面での飲食やマスクをはずしての会話は控えてください。また、家族以外との飲食、特にクラスタが発生しやすいと言われている場所（カラオケ、劇場・ライブハウス、スナック・パブ、居酒屋等）の利用はできるだけ控えるようにしてください。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ 検索

(出典) 厚生労働省 HP より。

■新型コロナウイルスを防ぐためのワンポイントレッスン

立命館保健センターの伊東宏所長による、新型コロナウイルスの感染を防ぐためのワンポイントレッスン(動画)を見て、人に感染させない・自分が感染しないための行動を徹底しよう!

<http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1809>

3)一緒に考えよう! ~とくに学生のみなさんに考えてほしいこと~

多くの学生・院生のみなさんは、普段から新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた行動に取り組んでいることと思います。しかし、誰かに誘われて、あるいは無意識のうちに、「3密」の発生しやすい場所に参加してしまい、知らないうちに感染を広げてしまうことがあるかもしれません。学生・院生のみなさん一人ひとりが自分事としてこの状況に向き合い、責任と自覚をもった行動を取るように心がけましょう。

【参考資料1】

健康観察用紙 Health check sheet															
学生証番号/教職員番号 Student ID/Faculty and Staff ID								氏名 Name							
学部・研究科/所属部課 Department/Affiliation								年齢 Age							
	月/日 M/D	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
朝 a.m	体温 Body temperature	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	鼻汁 Nasal congestion	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	咳 Cough	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	痰 Phlegm	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	息切れ Shortness of breath	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	発疹 Rash	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	味覚・嗅覚障害 Taste and/or Smell Disorder	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	その他 Other														
夕 p.m	体温 Body temperature	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C	°C
	鼻汁 Nasal congestion	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	咳 Cough	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	痰 Phlegm	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	息切れ Shortness of breath	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	発疹 Rash	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	味覚・嗅覚障害 Taste and/or Smell Disorder	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-	+・-
	その他 Other														

※ 発熱等の風邪症状が見られるときは、大学を休み外出を控えて下さい。また、毎日、体温を測定し、症状と共にこのシートに記録して下さい。

※ In the event you develop a fever, or other cold-like symptoms, please do not come to the university and stay home/dom.

※ 以下のいずれかに該当する場合は、帰国者・接触者相談センターにご相談下さい。

風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

※ Please consult with "Call Centers for Japanese Returnees and Potential Contacts" about the one with the next symptom.

- Symptoms of cold and fever above 37.5°C continuing for more than 4 days. (Including for those who need to keep taking an antipyretics.)
- Strong lassitude (fatigue) and oppressiveness (difficulty in breathing)

【電話相談窓口】	【Inquiry counter】
京都府・京都市 075-414-5487 (24時間) きょうと新型コロナ医療相談センター	Kyoto pref. 075-414-5487 (24hours)
滋賀県(大津市以外)077-528-3621 (24時間) 受診・相談センター	Shiga pref. 077-523-5646 <small>Shiga Foreign Residents Information Center</small>
大津市 077-526-5411(24時間)	(10:00am-5:00pm Except Sat, Sun and National Holidays.)
大阪府 06-7166-9911 (24時間) 新型コロナ受診相談センター	Osaka pref. 06-7166-9911 (24hours)
【問い合わせ先】	【Contact】
衣笠保健センター(志学館1階) 外線 075-465-8232 内線 511-2136	Medical Service Center (Kinugasa) Tel: 075-465-8232
BKC保健センター(ウエストウイング1階) 外線 077-561-2635 内線 515-7971	Medical Service Center (BKC) Tel: 077-561-2635
OIC保健センター(A51階) 外線 072-665-2110 内線513-2357	Medical Service Center (OIC) Tel: 072-665-2110

【参考資料2】

行動記録表

日付	曜日	体調	体温	行動記録		一緒にいた人	マスク
<記入例>							
9/28	月	○ (良好) × (不良)	36.5	8:00-9:00	通学 (電車)	なし	○
				9:00-10:30	授業出席	友人A、B	○
				10:30-12:00	自習 (図書館)	なし	○
				12:00-13:00	昼食	友人B、C、D	×
				13:00-14:30	授業出席	なし	○

※本用紙は本人のセルフチェック用です。提出等を求めることはありませんので、詳しく記述してください。

【参考資料3】

WITH CORONA

Start a New Campus Life

新しい
キャンパスライフを
はじめよう！



R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

新しいキャンパスライフをはじめよう！—実践例—

1 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合はマスクを着用する
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)



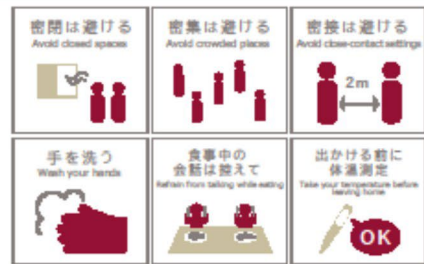
移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も
- 地域の感染状況に注意する



2 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック
- 発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養
- 登校した後に発熱や体調不良等の症状が出たら、かかりつけ医、または保健センターにまずは電話で相談



3 各場面別のキャンパスライフ

教室等の利用について

- キャンパス内では必ずマスクを着用する
- 一定の間隔がとられた座席を使用する
- 教室の換気(窓開け・ドア開けなど)に協力する

諸施設の利用について

- 施設利用前後に手洗い、手指消毒をする
- 利用時は必ずマスクを着用する
- 大声を出すことやマスクをはずしての会話は控える
- 「3密」を避ける

食堂などの施設の利用について

- 食事の前に必ず手洗いをする
- 利用者同士のソーシャルディスタンスを確保する
- 不要な会話は避けて、速やかに食事を摂る

通学時における注意事項

徒歩や自転車等による通学を推奨する

- 公共交通機関を利用せざるを得ない場合
- 必ずマスクを着用する
- 人との会話は控える
- 可能な限り混雑時間を避ける



課外自主活動について

- 対面による活動を再開するにあたっては、学生部に申請して許可を受ける(申請期限有)
- 学生部と確認した対応方針に従って活動する

4 とくに学生のみなさんに考えてほしいこと

- 多くの学生・院生の皆さんは、「3密」の発生しやすい場所に参加してしまう等により、知らないうちに感染を広げてしまうことがあるかもしれません。学生・院生の皆さん一人ひとりが自分事としてこの状況に向き合い、責任と自覚をもった行動を取るように心がけましょう。また、家族以外との飲食、特にクラスターが発生しやすいと言われている場所(カラオケ、劇場・ライブハウス、スナック・パブ、居酒屋等)の利用はできるだけ控えるようにしましょう。

感染拡大予防
マニュアル



RITSUMEIKAN
UNIVERSITY